

2024年5月23日

各位

株式会社北國銀行

JPYC 株式会社との預金型・資金移動業型ステーブルコインの連携に関する 共同検討の開始について

株式会社北國銀行（代表取締役：杖村 修司）、Digital Platformer 株式会社（代表取締役：松田 一敬、以下 Digital Platformer）、及び JPYC 株式会社（代表取締役：岡部 典孝、以下 JPYC 社）は、Digital Platformer が技術提供し、北國銀行が発行している預金型ステーブルコイン「トチカ」を用いて、JPYC 社が発行予定の資金移動業型ステーブルコイン「JPYC」の購入を可能にし、決済分野や送金などの幅広い分野におけるステーブルコイン利用拡大を目指す共同検討（以下、本共同検討）を開始したことをお知らせします。

記

■今回の背景

北國銀行および Digital Platformer は、決済手数料の負担が大きいという理由でキャッシュレス決済の導入を避けてきた事業者や紙ベースで発行されている地域商品券事業等にむけ、ブロックチェーン技術を活用したデジタル地域通貨サービス「トチツーカー」の活用を促進しています。日本初預金型ステーブルコイン「トチカ」はトチツーカー加盟店でご利用でき、加盟店の決済手数料が 0.5%（税込）という国際的にも最低水準でのキャッシュレス決済を可能にしました。

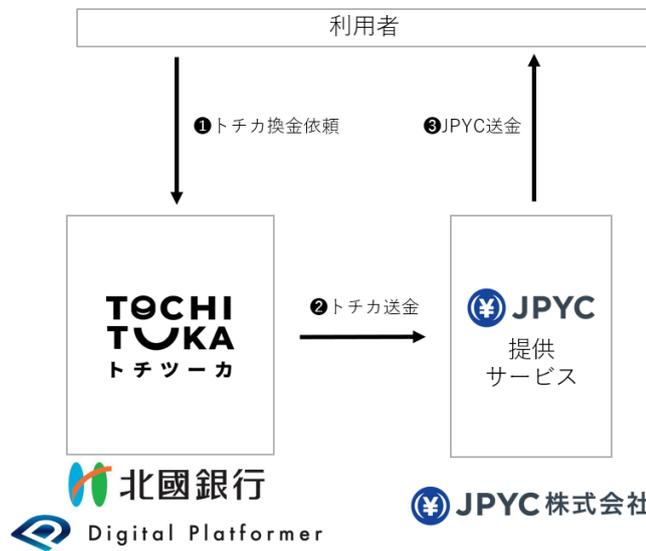
Digital Platformer は、この先のステーブルコインを用いた取引の可能性を最大限にするために、電子決済等取扱業のライセンス登録に向け、準備を進めております。また JPYC 社では、パブリックブロックチェーン上で発行・流通する日本円ステーブルコイン「JPYC」の開発運営を行っており、2021年1月にプリペイド型ステーブルコイン「JPYC」の発行を開始し、2024年1月には累計発行額が25億円を突破しています。

2023年の資金決済法改正を受け、電子決済手段に該当する資金移動業型ステーブルコイン「JPYC」の発行および流通の促進を目標に、資金移動業および電子決済手段等取引業のライセンス登録に向けた取り組みを進めています。

■今後の予定・展望

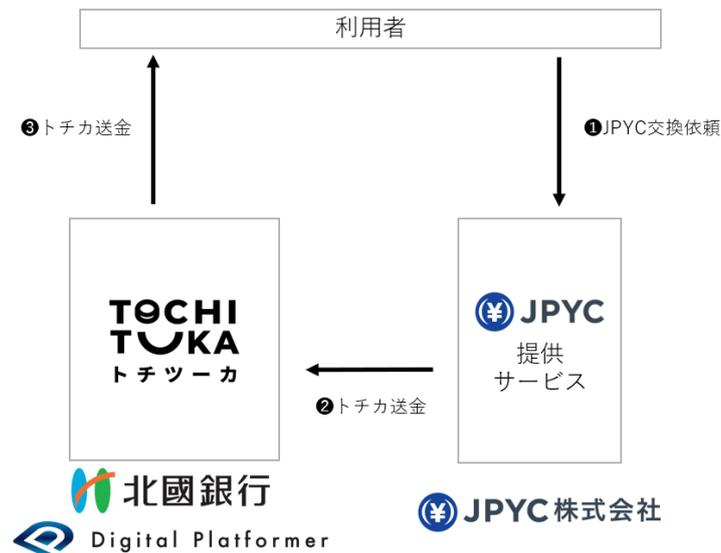
本共同検討では、北國銀行が発行している預金型ステーブルコイン「トチカ」を用いて JPYC 社が発行予定の資金移動業型ステーブルコイン「JPYC」の購入を可能にし、決済分野や送金などの幅広い分野におけるステーブルコイン利用拡大を目標とします。

共同検討の想定スキーム図 当初検討 トチカ to JPYC



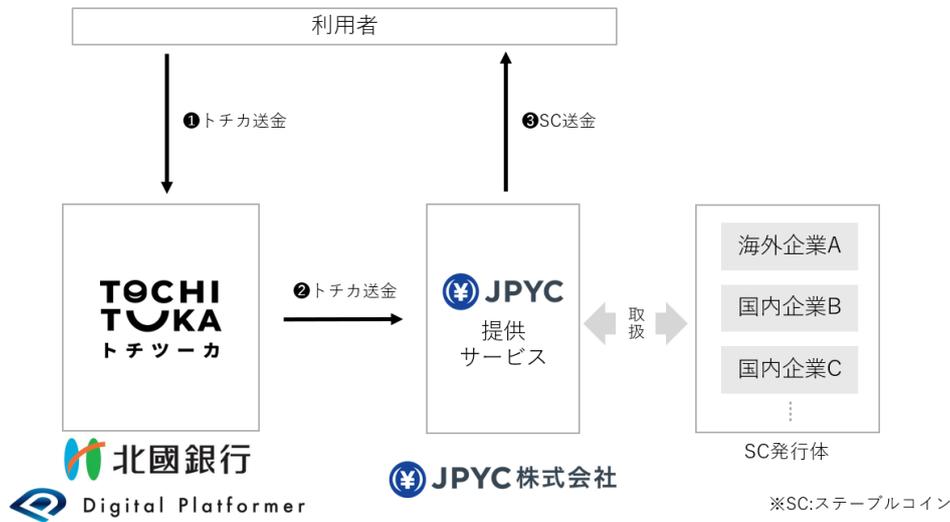
また将来の展望として、JPYC 社が開設予定のステーブルコイン取引所にて取扱予定の各種電子決済手段への交換を実現することで、日本国内だけでなく海外との電子決済手段との取引を可能にし、時間的・手数料の両面で削減をし、利用者にとってより簡便なサービス提供を目指します。

共同検討の想定スキーム図 将来的な検討 JPYC to トチカ



共同検討の想定スキーム図

将来的な検討 トチカ to SC



■預金型ステーブルコイン「トチカ」について

北國銀行と Digital Platformer が共同でブロックチェーンを活用したデジタル地域通貨サービス提供を行う「トチツーカー」のアプリでは、北國銀行が発行する日本初の預金型ステーブルコイン「トチカ」の利用が可能です。

トチツーカーアプリ上でチャージ用銀行預金口座の登録等を行うことで、トチカ口座が開設されます。開設後、登録した銀行預金口座からチャージを行うことで、1トチカ=1円としてトチツーカー加盟店でのお支払いにご利用いただけます。また、加盟店の方は0.5%（税込）という国際的にも最低水準の決済手数料でキャッシュレス決済を導入することができます。

サービスサイト：<https://tochituka.com/>

■資金移動業型ステーブルコイン「JPYC」について

資金移動業型ステーブルコイン「JPYC」は1JPYC=1円として日本円との相互交換が可能になる電子決済手段です。パブリックブロックチェーン技術によって、国内外問わず送金手数料を無料から1円未満に抑えることもできるため、地理的な距離を気にせずに相手へ送金することができます。また、加盟店管理が不要なため、誰でも自由にネットショッピングや実店舗など幅広い場所で、決済手数料0%の決済手段として利用することもできます。

スマートコントラクトと組み合わせた様々なオンチェーンサービスだけでなく、将来的には給与や報酬として受け取る、ATMを介して現金として引き出すなど、多種多様な方面でのユースケースの可能性があり、未来の金融インフラとして幅広い活用方法が期待できます。

■株式会社北國銀行について

株式会社北國銀行は、お客さまの大切なご預金をお預かりし、約 80 年にわたり、安心・安全・信頼の銀行ブランドとして利用されてきました。主に様々な決済のしくみや、資金の運用や調達といった伝統的な銀行のサービス提供をしています。また、銀行に限らず子会社の機能も活用してお客さま・地域の幅広いニーズに対応しています。

- ・会社名 : 株式会社北國銀行
- ・代表者 : 杖村 修司
- ・所在地 : 石川県金沢市広岡 2-12-6
- ・設立 : 1944 年 12 月
- ・URL : <https://www.hokkokubank.co.jp/>

■Digital Platformer 株式会社について

Digital Platformer 株式会社は、2020 年の設立以来、自治体や事業体に、ブロックチェーン技術を活用したデジタル地域振興券および、分散型 ID (DID) の発行プラットフォームを提供し、日本におけるブロックチェーン技術の先駆者としての地位を築いてきました。2024 年春には、北國銀行と協働して日本初の預金型ステーブルコイン「トチカ」をローンチ致しました。また、2023 年からは、地方自治体や事業会社の広範なニーズによりフレキシブルに 대응される、コンソーシアム型ブロックチェーンを活用した新プラットフォームの開発に着手しています。

- ・会社名 : Digital Platformer 株式会社
- ・代表者 : 松田 一敬
- ・所在地 : 東京都千代田麹町 5-3-23 日テレ四谷ビル 5F
- ・設立 : 2020 年 4 月
- ・URL : <https://digitalplatformer.co.jp/>

■JPYC 株式会社について

JPYC 株式会社は、2021 年からステーブルコイン事業を行っています。現在はプリペイド型ステーブルコイン「JPYC」を発行しており、今後は資金移動業型及び信託型ステーブルコインの発行を予定しています。また、国内外のステーブルコインを交換可能にする取引サービスの提供を計画しており、発行・交換事業の両方を行うことによりステーブルコインの中心的なプラットフォームであり続けることを目指しています。日本のステーブルコイン業界をリードするとともに、ステーブルコインを活用した送金・決済でデジタル金融イノベーションを促進していきます。

- ・会社名 : JPYC 株式会社
- ・代表者 : 代表取締役 岡部 典孝

- ・所在地 : 東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビル 4階 FINOLAB 内
- ・設立 : 2019 年 11 月
- ・事業内容 : ERC20 前払式支払手段の発行、NFT 等ブロックチェーン全般に関するコンサルティング
- ・加入団体 : 一般社団法人ブロックチェーン推進協会 (BCCC) 会員、一般社団法人日本暗号資産ビジネス協会 (JCBA) 会員、一般社団法人日本資金決済業協会第一種会員、一般社団法人 Fintech 協会ベンチャー会員、デジタルアセット共創コンソーシアム (DCC)
- ・監査法人 : あかり監査法人
- ・URL : <https://jpyc.co.jp/>
- ・Twitter : https://twitter.com/jcam_official

以上